

静岡県・言語・聴覚・発達障害教育研究会

会 報

第 5 4 4 号

発行日 令和 2 年 2 月 2 5 日
担 当 伊豆市立修善寺南小学校
ことばの教室

〒 410 - 2407
伊豆市柏久保 4 4 9
Tel 0558-72-0149 Fax0558-72-9824

修善寺南小学校言語通級指導教室 ことばの教室の概要

本教室には、学齢 20 人と幼児 16 人（体験通級を含む 1 月 16 日現在）計 36 人の子ども達が通い、学齢担当教諭 1 名、幼児担当指導員 1 名の体制で子ども達のために指導を行っています。

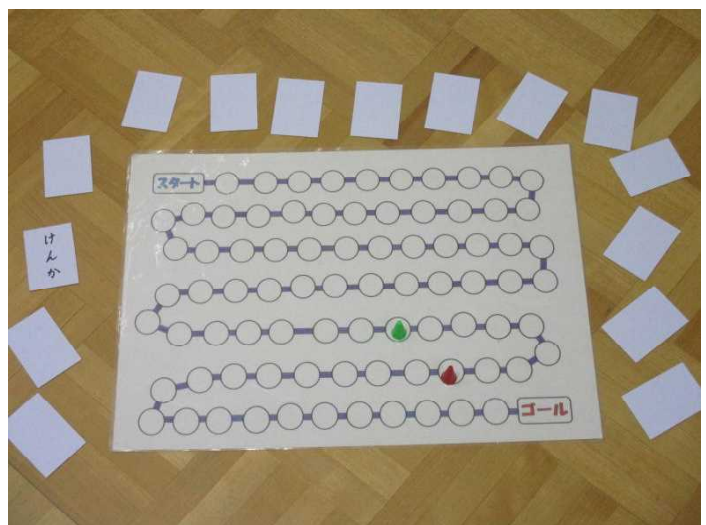
残念ながら伊豆市には発達通級教室が設置されていないため、幼児教室も含めて発達に問題を抱えている子ども達もかなりの割合で通ってきています。とはいえ、ボーダーの発達障害児に対する支援体制は十分であるとはいえ、今後の発達通級教室設置が切望される状況だといえます。

教室は、一応二重窓になっている幼児と学齢のための部屋が 1 つずつあり、他にプレイルームと職員室から構成されていますが、保護者のための控え室が完備されていないのが玉にきずです。また、教材・教具類も比較的良好に整っていますが、子ども達の指導や保護者啓発のための図書類が不足しているのが残念です。

自作 教材・教具の紹介

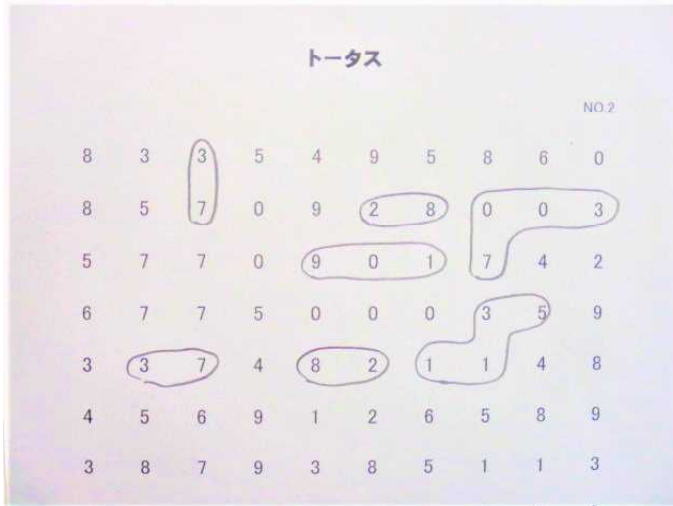
○構音双六

単語レベルでの構音練習に用いています。画像の中央は双六盤で、周囲に対戦者が交互にめくるためのカードが配置されています。カードは、各音が、語頭・語尾・語中別に仕分けされ、発音しやすい単語から順次練習できるようになっています。画像の例のように「けんか」という 3 音節のカードをめくった場合は、「けんか」と言いながら 3 コマ進むことができます。この双六を用いると音韻認識を意識しながら一音一音丁寧に発音したり、発音に意識を向けないようにさせながら構音の定着を図る練習をすることができます。



この双六を用いると音韻認識を意識しながら一音一音丁寧に発音したり、発音に意識を向けないようにさせながら構音の定着を図る練習をすることができます。

○ トータス (プリント版)



市販品にトータスというゲームがありますが、それに近い練習です。画像のように、合計で 10 になるグループを、相手よりたくさん見つけた方が勝ちとなります。この遊びを通して数に対する感覚、集中力、視覚認知の力を育てることができます。

100 個の数字はエクセルを用いてランダムに配置できるようにしてありますので、いくらでも違うプリントを作ることができます。

○ カラスの勘三郎

カ行音を楽しく練習するためのセットです。指導者が画像右下にある手袋カラスを、子どもは左下にあるお面を付けカラスになります。指導者が正しく「カアー」と鳴くか「タアー」と誤って鳴くかを子どもが聞き分ける耳の訓練です。正しく鳴けたときは「勘三郎!」「やったー!仲間だ!」と喜び合い、誤って鳴いたときには「おまえは偽物だ!」「くそー!みやぶられたか」とカラスになりきってあそびます。カ音が出るようになると、子どもが出題者になり、指導者が聞き分けをし、正しく発音できているか確認します。カ行音が習得でき習熟練習の段階では、「カラス カラス 勘三郎カアー カアー鳴いて 何食べる」「カラス カラス 勘三郎 誰と 誰と 遊ぶ」とカ行音の食べもや動物を付けながら劇あそびをして発音の練習にも使っています。

